アバンセ

NOW 情報誌

2013.2 vol.74

CONTENTS

小林（こばやし） 由枝（よしえ）さん

（平成22年度「家庭教育支援者リーダー等養成講座」受講者）
現在、武雄市永島公民館で、宿題ができる駄菓子屋さんとして「よりみちステーションぽちぽちや」を立ち上げ、地域の子どもの居場所づくりに奮闘中。

特集

「働く女性のためのアバンセ・セミナー　～若手女性リーダーへの一歩のために～」第5回

働く女性の交流会in佐賀　パネルディスカッション

「リーダー・管理職として女性が活躍するために」

昨年の10月から11月にかけて、県内の企業や団体に勤務する若手女性社員(職員)のみなさんを対象とした全5日間の「働く女性のためのアバンセ・セミナー」を実施しました。
最終日の「働く女性の交流会in佐賀」でのパネルディスカッションの一部をご紹介します。

主催：佐賀県立男女共同参画センター、財団法人21世紀職業財団　／平成24年11月30日開催

◆ パネリストの自己紹介 ◆

㈱佐賀共栄銀行 事務統括部長
岩永 妙子さん

(岩永)

伊万里市出身で、18年間伊万里支店に勤めました。平成17年に多久支店長に任命されましたが、初めての女性支店長ということで本当にプレッシャーでした。

実はその前に、一度「支店長にならないか」と声がかかったのですが、その時はまだ自信がありませんでした。でも、私がならないと後が続かないんじゃないかという気持ちもあり、二度目に声をかけてもらった時にやっと腹をくくりました。平成22年に事務統括部の副部長として初めて本部に異動し、翌年に部長になって、現在に至ります。

(内田)

㈱サガテレビ 報道制作部担当部長
内田 信子さん

一般職でサガテレビに入社し、10か月後にスタートする新しい番組のためにアナウンサーになりました。転機になったのは30歳の時です。この年に結婚したのですが、会社には「記者クラブに入れてほしい」と頼みました。

当時、女性アナウンサーに求められたのは、「花が咲いた」などの話題やお祭りなどを取材して華やかに伝えるということでしたが、記者クラブを始め、いろんな仕事をしてノウハウを蓄積していったことで、女性の私にも解説やデスクの役割がまわってくるようになりました。3年間広報をして、また報道制作の現場に戻り、昨年の春から管理職になりました。

(武末)

最初はアルバイトで「ららら」の飲食店に入りました。もともとはサービスがすごく好きだったわけではなくて、高校時代のアルバイト先で接客をよく褒めていただいたので「私にはこれしかない」と思っていました。最初の1、2年はいろんな店舗に入り、3年目に1つのお店のホール責任者・教育担当を任せていただきました。それ以来、アルバイトではありましたが、リーダーとしてお店をつくることに携わるようになりました。

㈱ららら　取締役
武末 華菜（たけまつ かな）さん

その後、「県外にお店を出すので教育担当として頑張ってくれないか」と声がかかり、引き受けました。1年後には佐世保に続いて長崎にもオープンし、たくさんのお客様に来ていただけるお店をつくることができました。今は「ららら」の接客教育の担当を任せてもらい、全店舗を見ながらいいお店が増えるように努力しています。

◆ 困難だと感じたことは？ ◆

(武末)

初めは18歳で常識もわからず、毎日怒られていろんなことを厳しく指導してもらいました。教育担当は難しいことが多く、10代のアルバイトの中には素直じゃない人もいます。でも採用した以上はどんな人であっても本気で関わろうと決めています。アルバイトがお店を辞める際に、そのご両親がわざわざお店に来てくださって「ここで働いて(うちの娘・息子は)すごく変わった。ありがとうございました」などと感謝されることがあります。そんな時が一番のやりがいです。

(内田)

だんだん年を重ねてくると、年下の男性が自分の上司になったりして「あれ？」と思うようになります。40代後半でそんなことが出始めて、その頃から「管理職になりたい」と思うようになりました。私の前にひとり女性管理職はいましたが、報道制作の現場には女性の管理職はいませんでした。なかなかなれずにあきらめた頃に管理職の声がかかりました。仕事がハードなので出産した時は迷ったのですが、入社した時に

10人いた先輩の女性たちが私の子育てを支えてくれました。

（岩永）

管理職になる上での困難はあまり感じなかったのですが、支店長になった時、融資の新規事業開拓などはあまり経験がありませんでした。私も結婚・出産して男の子がひとりです。育児休暇は1年間取れるのですが、その頃の私はあまり離れると不安だったので5か月くらいで復帰しました。

◆ パネリストへの質問 ◆

（参加者）

営業職で20代後半、未婚です。営業で女性は私ひとりです。将来的には結婚も出産も経験したいと思っていますが、一応男性に負けないようにと同じ仕事をやっているつもりなので、結婚・出産することでそれができなくなるのが怖いと思っています。「仕事のスピードの落とし方」を教えてください。

（内田）

私は夜の付き合いを一切なくしました。夜の部分がなくなると負担はずいぶん少なくなるのではないかと思います。今までのようにできない自分が悲しくて「あんなに仕事ができていたのにどうして今私はこうなの」と悔しくなることがあるかもしれませんが、後で十分取り戻せます。結婚や育児を経験することであなた自身がすばらしい人生を送れると思います。

◆ 参加者へのメッセージ ◆

（岩永）

管理職をめざすみなさんには、個人の自由ですが、できれば結婚も出産も経験していただきたいと思います。辞めてしまえばそこで終わってしまうので、悩んだ時には家族でも友達でもとにかく誰かに相談して、あきらめないでやり続けるということが大事です。友達や先輩などの人の輪を、ネットワークをつくっていただければと思います。

（内田）

自分の仕事のプロになって、「この仕事は彼女に任せれば安心だ」という存在になることができれば自分自身に誇りが持てると思います。「私には管理職はできません」という前に、「あの男性にできたんだから、私にもできるはず」と、自分を励ましていただきたいと思います。私が勤め始めて30年になりますが、この間にも女性の地位は大きく変わりました。閉塞感を持たずに一緒に頑張っていきましょう。

（武末）

仕事をしていく上で困難だと感じることもあると思いますが、自分を成長させてくれる試練だと思って「よし、また来た！」というような気持ちで、前向きに楽しんで仕事をしていってほしいと思います。目の前にある困難は誰にとっても難しいことが多いと思います。向上心を持って、楽しみながら「必要とされる人」になってほしいと思います。

◆ コーディネーターから一言 ◆

パネリストのみなさんは最初から管理職になりたいと思ってきたわけではなくて、目の前の仕事をひとつひとつ丁寧にやった結果として管理職になられたのだと思います。目の前にある仕事をきちんとして、ただし、それで満足をしないでその先を見て、あきらめずに夢を持って頑張っていただきたいと思います。

これからキャリアを積んでいくと、いろんな仕事がたくさん降ってくると思います。周囲の方の力を借りてみなさんここまで続けて来られています。やっぱり人のネットワークを大事にするということが重要です。また、人にはそれぞれ得意・不得意がありますが、不得意なことは得意な人に任せて、一緒に協力してやっていけばどんな人でもきちんと管理職の仕事ができると思います。あまり肩ひじを張らずに頑張っていただければと思います。

最後に、みなさんにはこれから明るい将来が待っています。今の仕事を頑張って自信を持って、「管理職にどうですか」という声がかかった時は「そんなことできません」なんて絶対に言わないで、「はい喜んで」と引き受けてチャレンジしていただきたいと思います。

＊この文章はパネルディスカッションの一部をアバンセ事業部でまとめたものです。なお、パネルディスカッションの詳細を含む「働く女性のためのアバンセ・セミナー」の様子はアバンセホームページで詳しくご紹介しています。

パネルディスカッションの後はフリートークで盛り上がりました

コーディネーター

(財)21世紀職業財団理事　高松 和子さん

昭和49年にソニー㈱に入社。取扱説明書の制作を22年間にわたり担当する。

統括部長、総合企画部事業企画担当部長を経て、平成12年にソニーデジタルネットワークアプリケーションズ㈱の設立と同時に取締役として出向。平成15年に同社の代表取締役に就任する。

平成20年にソニー㈱の環境担当VPとなり、平成24年3月に同社VP環境センター長を定年退職。同年4月よりYAMAGATA INTECH㈱顧問。

未来の自分の キャリアデザイン

生き方と働き方を考える

佐賀県立男女共同参画センターでは、大学コンソーシアム佐賀と佐賀県専修学校各種学校連合会との共催で、平成24年12月7日に『学生への意識啓発事業』を開催しました。講師にはキャリアカウンセラーの小島貴子さんをお迎えし、お話しいただきました。その一部をご紹介します。

講師プロフィール

小島貴子（こじまたかこ）さん

三菱銀行(現.三菱東京UFJ銀行)に勤務。出産のため退職後、7年間の専業主婦を経て、職業訓練指導員として埼玉県庁に入庁。キャリアカウンセリングを学び、職業訓練生の就職支援を行い、7年連続で就職率100%を達成。その後、立教大学で社会と大学を結びつける「コオプ教育コーディネーター」、立教大学大学院ビジネスデザイン研究科特任准教授などを経て、現在は東洋大学理工学部准教授、同大学グローバルキャリア教育センター副センター長、埼玉県雇用人材育成統括参与を務める。

—今の自分は３年後の自分の土台—

今、生きている自分は３年後の自分の土台、３年後の自分のために今があります。１年ずつ刻んで３年経った時にどんな自分に会いたいかということが、大きいキャリアデザインのterm(意味・定義)だと思います。

—変化を自分で作る—

道を変えるとか新聞を変えるとか、ちょっとした行動を変えることによって、いろんなものが見えてきます。そのためには情報を、「知っていること・好きなこと」だけから取らないで、「知らないこと・嫌いなこと・苦手なこと」に首をつっこんで情報を得てください。情報はどんどん集めてアウトプットすることで、自分の新しい知識や能力になります。知っているだけではダメなのです。

だから私は、学生に新聞の切り抜きをさせています。就活を始める半年前から切り抜きをし、要約をして自分の意見を書く。すると、世の中の変化と重要なことについて自分の意見ができるので、エントリーシートが断然良くなります。毎日の積み重ねですが、これほど難しいものはありません。ところが実行した学生は、素晴らしく成長し、やったことが自信になっています。

—最後に—

キャリアデザインは積み重ねです。デザインをすることは、まずひとつひとつのパーツを知ること、そして積み重ねていくことです。型にとらわれずに大きな視点で世の中を見ていってほしいと思います。

※この文章は、小島貴子さんの講演内容の一部を、アバンセ事業部でまとめたものです。

参加者に、講演の感想を聞いてみました！

野﨑 綾さん (大学院1年)
「今の自分がこれから３年後の土台になる」という一言が心にずっと残っています。3年後には建築士の資格を取れるよう、今からがんばります。

陣野 周作さん (大学4年)
「思ったように行かなくても、偶然を大切にし、頑張っていけば自分のキャリアは振り返ると築かれている」という言葉にぐっときました。

平成24年11月11日　ゆめ・ぽけっとファミリーフェスタで

男女共同参画センター

グループ紹介

平成19年、佐賀市の中心市街地に子育ての日常を豊かにしたいと開設された「佐賀市子育て支援センターゆめ・ぽけっと」。これまでに20万人を超える親子が利用し、土日は利用者の20%が男性です。

子どもを真ん中に、父親同士のつながりと仲間づくりをめざし誕生した“イクメン戦隊　ゆめレンジャー”。平成22年に「STS子育て応援フェスタ」でデビューし、ゆめ・ぽけっとの「ファミリーフェスタ」や、佐賀新聞の「バブバブフェスタ」などでのダンスの披露や父親育児講演会・交流会等への参加のほか、メンバーが集まって飲み会や、家族ぐるみでのたこ焼きパーティを企画するなど、交流を深めています。

子育てを楽しんでいる男性グループ“ゆめレンジャー”のメンバーから、4人の方にお話をお聞きしました。

イクメン戦隊 ゆめレンジャー

徳川 浩充さん　会社員
5歳の女の子と1歳の男の子
初代ゆめレンジャー
ゆめレンジャー全体の世話役

深川 康弘さん　会社員
7歳・6歳の女の子と5歳の男の子
初代ゆめレンジャー
企画・イベント係

橋口 広幸さん　自営業
2歳の女の子
2代目ゆめレンジャーの
センターポジション

江口 将(たかし)さん
会社員　3歳の女の子
3代目ゆめレンジャーの
センターポジション

☆“パパスイッチ”が入ったのはいつ？

- ゆめ・ぽけっとで開催された「プレパパ・プレママ」セミナーに参加したとき。
- 生まれたとき、最初ビビって抱けなかった。子どもに「親父」にさせてもらった。
- 独身の頃は自分が子どもを可愛いと思えるか、自信がなかった。子どもができたらうれしくて、可愛くて。
- 子どもが「パパ、パパ」と甘えてくれることでパパになっていくという感じ。変化する。
- 父親になって、自分の子どもばかりではなく、すべての子どもが可愛い。情が入る。

☆ゆめレンジャーをして良かったことは？

- 父親同士でいろいろな話をして、子育てに正解はないと思うようになった。
- 悩んでいるのはみんな同じだとわかった。
- 子どもがいるからこそ知り合えた。パパ友ができた。仕事も家事も育児も楽しくなった。

☆周りの反応は？

- 子どもが、ゆめレンジャーを撮ったビデオを繰り返し観て、曲も覚えた。

＜ゆめ・ぽけっと＞職員のお話

父親が人前で踊っているのは、子どもにとってインパクト大です。みなさん、「自慢のお父さん」「ヒーロー」ですよ。

おかあさんもノリノリ。「どうやったらゆめレンジャーに入れるんですか」とおかあさんからの問い合せもあります。

土日は特にお父さんが多く来られるので、初めての方も気軽に来て親子で遊んでください。月1回開催の“サガンパパサロン”や交流会も楽しいですよ。

問合せ　佐賀市子育て支援センターゆめ・ぽけっと
TEL 0952－40－7287

メンバーからの＜メッセージ＞

- 父親の心を動かすコツは、「パパ、すごい!!」の一言。とにかく誉めて。
- ひとりじゃない　仲間ができる！
- 話せる場所がある　一歩前へ。
- 出会って、話して、いろいろな意見を取り入れられるようになるのが大きい。

「性暴力被害者への支援」を考える4

性的な被害を受けるということは、その当事者にとって筆舌に尽くしがたいほど屈辱的な、心身のバランスを大きく崩す出来事です。自分の人生を自分で歩くことができなくなった瞬間の出来事を、ある女性は「あの日以来、ずっと時間が止まったままです。」と、またある女性は「あの日からこの身体は私のものではなくなりました。」と表現しています。

性暴力の被害事実を受け止めることが難しかったり、加害者からの弁償がほとんどないことが多い被害者に対し、被害直後から手厚く関わることができるサポートシステムを作ることが今求められています。被害者の心の痛みに寄り添うこと、被害者の日常生活を崩さず動かし続けること、将来のライフサイクルの変化に伴う相談支援を行うことなどがサポートとして考えられます。そして、それらを行うにあたっては、支援に関わるすべてのメンバーが熱心で訓練されていることが必要です。

被害から回復できたというある女性は、当時を振り返り、「被害直後に行った病院スタッフと警察官が温かく関わってくださり、私に何度も『あなたは悪くないよ』と言ってくれたこと、運よく仕事を続けることができ、心が苦しくても、経済的に困ることはなかったこと、そのおかげで今の私があります。」と言っていました。

回復は、人ぞれぞれの変遷をたどると思いますが、人の温もりのある関わりがケアとなり、回復の早道となるのではないかと考えています。一人で悩まずに、どうぞご相談ください。

●性暴力救援センター・さが（さがmirai） 0952-26-1750
●アバンセ女性総合相談 0952-26-0018

相談室便り

アバンセ男性総合相談で相談を受けていただいている男性臨床心理士さんのコメントを紹介します。

「男性総合相談」では、様々な電話での相談をお受けしています。この窓口が開設されて２年目になりますが、当初は相談の電話があるのかどうかも心配していました。しかし実際のところは、なかなか他所では言えない内に秘めた思いから受話器を取る方が多々おられ、こちらとしても可能な限りお力になれればと思いながら、まずはお話をうかがうところから始まります。

場合によっては、他の専門機関をご紹介させて頂くこともありますが、ご自身の悩み事を言葉にして語っていかれる中で、気持ちの整理がついていくこともあります。「周りの人に弱みは見せられない！」と強く感じている方も、色々とお話して下さる中で、「相談してみるのも、悪くはないなぁ。」と思いが変わることもあるようでした。

電話先の相手が見えないということで、心配でもあり、また安心でもありという少々複雑な思いが生じるかもしれません。それでも担当する私としては、お困りの時にまずは一度受話器を取って頂けると良いなと思い、お電話をお待ちしています。

男性総合相談
毎月第2,4火曜
19:00～21:00
TEL0952-26-0020
（電話のみ）

男性総合相談担当　臨床心理士

中学生向け予防教育事業

「からだ いのち こころ」

子どもが安全な行動を選択するために

アバンセ 佐賀県DV総合対策センター

佐賀県DV総合対策センターでは、県内の中学校や高校、大学で、性教育や暴力予防教育を組合わせた授業を実施しています。

今回は、そのうち「中学生向け予防教育事業」についてご案内します。

どんなことをしているの？

中学校の学習指導要領と発達段階を考慮して、学年ごとに学習テーマを設定しています。具体的な方法としては、生徒と保護者の自宅学習、派遣講師による学年ごとの集団学習（講演）、生徒主体によるグループ学習を実施しています。

1年次 『命の大切さ』

2年次 『相手を思いやり自分を大切にする』

3年次 『エイズを通して命について考える』

安全な行動を選択できる

どんな効果があるの？

予防教育授業の前後で行ったアンケート結果から、特に、精神的暴力を暴力であると認識する生徒が増えていることが分かりました。（右グラフ）

DVや、若年層に増えているデートDV（交際相手からの暴力）は、精神的な暴力から始まることが多いので、暴力予防教育として効果があったことが分かります。

中学2年生・男女交際における暴力の種類ごとの、予防教育前後の正解率※の変化

※正解率とは、暴力として認識している率

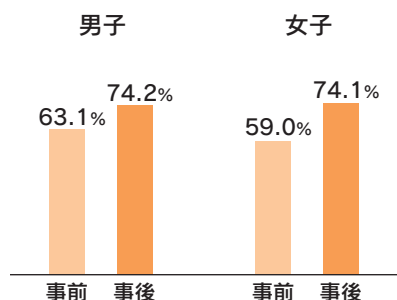
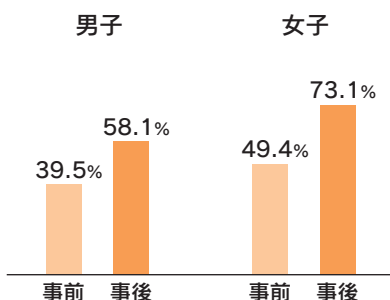
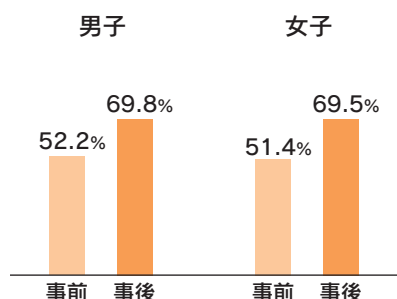
●ものをこわしたり、なぐるふりをする

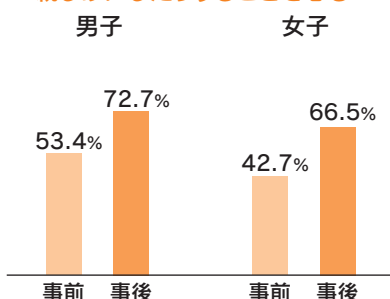
	事前	事後
男子	63.1%	74.2%
女子	59.0%	74.1%

●大声でどなる

	事前	事後
男子	39.5%	58.1%
女子	49.4%	73.1%

●何を言っても、相手にせず無視する

	事前	事後
男子	52.2%	69.8%
女子	51.4%	69.5%

●他の異性と話をしたり親しげにしたりすることを怒る

	事前	事後
男子	53.4%	72.7%
女子	42.7%	66.5%

2013年
2/24
(日)

会場 アバンセ
参加無料
事前申込不要

集まれ!! 親子

「むすんで ひらいて 元気に子育て」

～ 笑顔に出会える一日プログラム ～

子育ての今を見つめるプログラムを
アバンセで開催します。
新たな出会いと発見で、
みんな笑顔で、元気に子育て!!

プログラム 時　　間	①ワークショップ 10:00～11:30	②親子体験 11:30～13:30	③シンポジウム 13:30～15:30	④ホッとコーナー 10:00～15:30
対象／定員	どなたでも／50名 同室託児有	親子／20組／要整理券 (当日9:30より1階展示コーナーで配布)	どなたでも／70名 ※託児有・要事前申込	どなたでも
会　　場	第2研修室(4階)	調理実習室(3階)	第2研修室(4階)	展示コーナー(1階)

※③シンポジウムでの託児(無料)原則6ヶ月～就学前まで　託児定員(10名)になり次第締切　申込は生涯学習センター(アバンセ)まで

①ワークショップ

『あなたが大切だから楽しもう』

親子の間で「あなたはとても大切な存在」と伝えあうことできていますか?
相手の存在や価値を認めあうコミュニケーションの方法を学んで、これからの生活に取り入れてみませんか!

②親子体験

『おにぎりと紙ひこうきをつくって親子のふれあいを深めよう』

親子で笑顔いっぱいの時間を過ごしませんか!
どんなカタチのおにぎりができるかな?
ふんわり舞うように飛ぶ紙ひこうきも作ります。

③シンポジウム

『私の子育て体験から広がる共感の輪』

5人の保護者が『私の子育て』を語ります!
これまでの子育て体験からみえてくる、それぞれの思いや悩みを共有し、子育ての共感の輪を広げていきましょう。

④ホッとコーナー

『あそばんね～ まなばんね～ しゃべらんね～』

一日だけの「おしゃべりカフェ」オープン!
子育てのことなど、思いっきりおしゃべりを楽しみましょう。子どもの遊び場も用意しています。

各プログラムの詳細はアバンセホームページをご覧ください

この一日プログラムは、佐賀県立生涯学習センター主催事業「家庭教育支援者リーダー等養成講座」の一環として開催するものです。今年度の受講生（県内で家庭教育支援、子育て支援の活動に取組まれている支援者の方々）が講座で企画したプログラムを、一日プログラムとして実践いたします。子育て中の方、これから親になる若い世代から祖父母世代の方、地域で子育てを応援したい方など、多くのみなさまのご来場をお待ちしています。

詳しくは、佐賀県立生涯学習センター（アバンセ）TEL 0952-26-0011 までお問い合せください。

manabisuto haiken!

vol.3

まなびすと拝見!

このコーナーでは、アバンセで学んだことがきっかけとなり、地域社会で活躍している人を紹介します。

profile

ビデオボランティア

海田（かいだ）　聖士（せいじ）さん

【平成19年度初めての人のためのビデオカメラ撮影講座受講者】
【平成20年度アバンセビデオクラブ受講者】
（デジタルコンテンツを作成できる人材育成講座）

どんな映像が撮れているのか楽しみ♪

きっかけは子どもの成長記録

仕事が電気技術関係だったので、もともと写真を撮ることは好きでした。20歳ぐらいの頃、8mmムービーカメラを購入し、その後、子どもの成長記録を残すために撮影をしていました。未来に映像が残るという面白さにどんどん惹かれていったのです。

アバンセで学んだパソコンでの映像編集技術

平成８年に仕事を退職し、その後、嘱託職員として県の関連施設で平成16年まで勤務していましたが、病気を患って退職しました。その後、２年程ブランクがありましたが、これではいけないと思い、アバンセの「初めての人のためのビデオカメラ撮影講座」を受講したのがきっかけです。

当時の視聴覚ライブラリーの職員の方から講義を受けることで、昔から趣味として行っていたビデオの映像を本格的にパソコンで編集する技術を身につけることができました。

それからは、火がつき益々ビデオ撮影と編集にのめり込んでいく毎日でした。(笑)

ビデオボランティアで地域社会へ恩返し

どんな映像になるのか、わくわくしながらアバンセに通っていました。今ではNHK佐賀ビデオクラブ会員として、時々投稿した作品がテレビで放映されています。いかに使用してもらえるか、美しい映像を撮ることが課題で、日々研鑽しています。

今後も、自分にできる映像技術によって地域社会に貢献できればと思い、アバンセの事業である「県民講師チャレンジ講座」で、ビデオボランティアとして、その講座の撮影とDVDの編集作業にも関わっています。

その他にも、ゆめさが大学（旧高齢者大学）の卒業発表会や、ボランティア団体の老人ホーム慰問、子どもの絵画展の撮影など、いろんなビデオボランティアを行っています。

70歳からの手習いでしたが、77歳の現在もビデオ撮影と編集のおかげで、充実した生活を送っています。映像を通じて人とつながっていくのが楽しいです。出会ったみなさんのおかげで、現在の私があると感謝しています。

今は、自分のライフスタイルを密かに自分撮りして「聖ちゃんビデオ」なるものを作成中です。(笑)

ビデオボランティアで作成した「県民講師チャレンジ講座」のDVD

男女共同参画推進審議会の委員を募集しています

あなたの声を、県の男女共同参画推進に関する施策に活かしてみませんか？

■募集期間　平成25年**2月２８日**(木)まで
※当日消印有効、メール・持参の場合は１７時１５分まで

■募集人数　若干名（審議会委員は２０名です。）

■任　　期　２年（平成２５年３月２７日～平成２７年３月２６日）

■応募資格　県内に居住又は通勤、通学する２０歳以上の方
（国又は地方公共団体の議員及び常勤の公務員並びに暴力団員等は除きます）

■応募方法　所定の応募用紙に必要事項を記入の上、「私の体験を通して感じる男女共同参画社会実現に必要な取組み」をテーマとした小論文（800字程度）を添えて、郵送、メール又は持参によりご応募ください。
※応募用紙は、県庁元気ひろば、県総合庁舎、市町、アバンセなどに置いているほか、県のホームページにも掲載しています。

◆ お問い合わせ先・応募先 ◆

佐賀県くらし環境本部　男女参画・県民協働課　〒840-8570 佐賀市城内1-1-59
TEL：0952-25-7062　FAX：0952-25-7338　E-mail：danjo-kenmin@pref.saga.lg.jp

日韓の男女共同参画社会を互いに学ぶ

佐賀県翼の会など主催 ～ 韓国・全羅南道（チョルラナムド）の友人との交流 ～

去る12月8日（土）、佐賀県翼の会などの主催により、「日韓の男女共同参画社会を互いに学ぶ」と題したシンポジウムが、アバンセの県民グループ派遣招へい支援事業を活用して開催されました。このシンポジウムのために、佐賀県と友好交流協定を締結している韓国・全羅南道（チョルラナムド）から、7名の方が来佐されました。

韓国では、普遍的な社会制度となっている家父長制などによる男女格差が大きいものの、国会議員のうち2000年までは1桁にとどまっていた女性議員が占める割合が、政党法の改正などにより2011年には14.7％へ増加。公務員についても、女性公務員採用目標制や管理職等における女性割合の目標値の導入により、2001年に4.8％だった国家公務員の課長補佐級以上の割合が、2006年には9.6％に増加するなど、意思決定過程への女性の参画が進んでいます。また、医療分野や司法分野などの専門分野でも社会的進出が拡大されています。

先進諸国の中では、政治や経済活動、意思決定過程への女性の参画率が低いなど、日本と同じような課題を持つ韓国の取組は、日本でも参考になる点が多いようです。

3月16日（土）には、このシンポジウムも含む、県民グループ派遣招へい支援事業等の報告会を、アバンセで開催しますので、ぜひお越しください。

市町・CSO行事案内

行事名	DV防止啓発講演会「若者のDV　被害者にも加害者にもならないために」		
開催日時	平成25年2月23日(土) 13:30～15:30	会　場	唐津市高齢者ふれあい会館 りふれ 研修室
対　象	どなたでも	定　員	40名
申込締切	平成25年2月20日(水)	参加費	無料
主な内容	内　容／被害者も加害者もDVの知識がないために、そのような事例を暴力と認識していないことが多いため、被害が深刻化することもあります。 DVを未然に防ぎ、対等な関係を築く方法について学びます。 講　師／中田慶子　さん(NPO法人　DV防止ながさき　代表) 申　込／唐津市 男女共同参画・地域づくり課へ電話・FAX・Eメールで申込み ①氏名(フリガナ)②電話番号をお知らせください。 一時保育／無料(原則6ヵ月以上就学前まで) 希望される方は2月18日(月)までにお申込ください。		
問い合わせ	唐津市男女共同参画・地域づくり課　中野、吉村 ＴＥＬ 0955-72-9239　ＦＡＸ 0955-72-9180　E-mail danjo-kyoudou@city.karatsu.lg.jp		

行事名	松香洋子　講演会　『ふるさと佐賀を世界に自慢できる子供を育てよう』		
開催日時	平成25年3月3日(日) 13:30～15:00(13:00受付開始)		
会　場	佐賀勤労者総合福祉センター(メートプラザ佐賀)多目的ホール　佐賀市兵庫町藤木1006番地1　TEL0952-33-0003		
対　象	教育関係者、保護者、子供の英語教育に関心のある一般の方	定　員	300名
申込締切	定員になり次第締切 参加お申し込みはメールにて参加者氏名　連絡先(電話番号)をご明記の上お申し込みください。	参加費	500円
主な内容	今後目指すべき英語教育のあり方について、子供の力を引き出す指導について、児童英語教育の第一人者である松香洋子先生にお話して頂きます。託児あり(先着10名まで)		
問い合わせ	SAGAこども英語研究会　代表　西久保雅代 ＴＥＬ 090-9977-2623　E-mail stacebox@gmail.com		

このページでは、今後も県内各市町や関係団体が実施する、男女共同参画や生涯学習に関するイベントをご紹介します。
掲載を希望される場合は、アバンセ 管理部 (0952-26-0011)までご連絡ください。

※CSOとは、Civil　Society　Organizations(市民社会組織)の略で、佐賀県では、NPO法人、市民活動・ボランティア団体(以上志縁団体)に限らず、自治会、町内会、婦人会、PTA(以上地縁 組織)といった組織・団体も含めて、「CSO」と呼称しています。

情報サービスフロアのおすすめ図書　男女共同参画、生涯学習の資料を提供しています。

◆地域で遊ぶ、地域で育つ子どもたち

深作拓郎/代表編著
K379.3/フカ

地域での遊びによって子どもたちのこころ、からだはどう育まれるか。遊びを中心とした子どもたちの育ちをテーマにした若手研究者による探究記。地域で活躍するNPO等の実践事例、5編も収録しています。

◆小島貴子式 仕事の起爆力

小島貴子/著
D159/コジ

「仕事はおもしろい、人を成長させてくれる」「自分の人生を豊かにしてくれる」ちょっと視点を変えるだけで、一気に仕事の起爆力(原動力)に火がつく。仕事で成長するために必要な仕事のやり方、見方、考え方など仕事のヒントがたくさん書かれています。

アバンセからのお知らせ

～アバンセ幼児室2のご予約ができるようになります～

お子様と一緒に活動されている子育てサークル等の利用に、アバンセ2階の幼児室2の予約受付を3月1日（予定）より開始します。

- ・ホール等を利用した上で託児室としてのご利用
  ホール等の利用申込時点で受付開始
- ・幼児室2のみのご利用
  利用希望日の2カ月前から受付開始

詳細は、貸館窓口（TEL0952-26-0011）までお尋ねください。

さが mirai（みらい）

性暴力被害者支援のための専門機関です。

もし被害にあったら

ひとりで悩まず、さがmiraiまたは、アバンセ女性総合相談にお電話ください。

女性の医療ソーシャルワーカーや相談員があなたのお話を伺います。

相談することをためらわず、あなたの大切なからだとあなたの将来のために相談してください。

性暴力救援センター・さが さがmirai（みらい）

0952-26-1750

（月曜～金曜　9:00～17:00）

※ただし、救急受診はこの限りではありません。

さがmiraiは、地方独立行政法人佐賀県立病院好生館相談支援センター医療相談係に設置されています。

アバンセ女性総合相談

0952-26-0018

（火曜～土曜 9:00～21:00
日曜・祝日　9:00～16:30）

アバンセ女性総合相談は、佐賀県立男女共同参画センターに設置されています。

アバンセ アクセス

拡大図

P アバンセ南出入口に屋根付身障者用駐車場（5台分）があります。

●JR佐賀駅から徒歩約10分
●駐車場に限りがありますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。
●開館時間：火～土 8:30～22:00（夜10:00）
　　　　　日・祝　8:30～17:00
休 館 日：毎週月曜日（祝日開館、翌日休館）、
　　　　　12月29日～1月3日

● アバンセは佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センターの愛称です。
● 「アバンセ」はスペイン語で「前進（avance）」という意味です。
● 『アバンセNOW』はアバンセの今をお伝えする情報誌です。

アバンセNOW
vol.74 2013.2月号

●発行・企画・編集／佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター（アバンセ）
〒840-0815 佐賀市天神三丁目2-11 TEL0952-26-0011 FAX0952-25-5591
E-mail daihyo@avance.or.jp URL http://www.avance.or.jp/